



除雪ステーションを有効活用した 「サイクル拠点」を今年も実施します！

～サイクリストのための路面表示（矢羽根）も設置！～

小樽開発建設部が昨年度社会実験としてスタートした「除雪ステーション」をサイクリスト専用駐車場（発着拠点）として有効活用する取り組みについて、羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）と協働しながら、今年度も羊蹄山麓エリアにおけるサイクルツーリズムを推進します。また、サイクリストのための路面表示（矢羽根）を設置し、走行環境の改善を進めます。

羊蹄ニセコ地域は、近年、大勢のサイクリストが訪れており、ニセコ町の道の駅を拠点としてサイクリングを楽しむ人も多い中、道の駅自体を目的とした利用者も多いことから、駐車場が慢性的な飽和状態となるなど課題となっているところです。

そのため、令和元年9月に社会実験として、道の駅の近隣にある国道5号ニセコ除雪ステーションを「サイクル拠点」として活用する取組を実施し、サイクリストの受入施設確保や道の駅の負担軽減等の課題解決の可能性について調査を実施したところです。

今年度も開放期間等を変更したうえで実施し、引き続き有効性を検証します。

なお、本取組は「北海道のサイクルツーリズム推進方針」に則り、ルート協議会として活動している羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）と連携・協働を進めていきます。

また、サイクリストの走行環境の改善を目的とした路面表示（矢羽根）の設置も実施しています。今後有効性を検証し、設置箇所の検討を進めていきます。

記

- （1）開放期間 7月23日（木・祝）から9月22日（火・祝）までのうち、土日祝日に実施（予定）
- （2）実施場所 国道5号 ニセコ町 ニセコ除雪ステーション（ニセコ町字元町）
- （3）実施内容 詳細は別紙を参照願います

※悪天候や緊急事態発生時は開放を中止する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の終了、外出自粛の段階的な緩和を受けて、サイクルツーリズム推進に取り組めます。

※小樽開発建設部では、第8期となる北海道総合開発計画にある「世界水準の観光地」を目指すサイクルツーリズム等の振興等に基づき、地域の取組を応援、支援しています。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

特定道路事業対策官

坪西 国夫（電話番号 0134-23-5199）

道路計画課長

佐々木 博一（電話番号 0134-23-5229）

ホームページアドレス <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



令和2年度「ニセコ羊蹄山エリアサイクルオアシス」オープン！

○昨年度社会実験として実施した国道5号『ニセコ除雪ステーション』の夏場のサイクル拠点利用について、一部サービスメニューを見直し令和2年度も実施します。

令和2年度概要

- サービスメニュー：サイクリスト専用無料駐車場、無料休憩スペース（屋外）、インフォメーション、工具貸出
- 実施期間：令和2年7月23日(木・祝)～令和2年9月22日(火・祝)のうち、土日祝日(7時～17時)に実施(予定)
- 実施機関・団体：
 - ・北海道開発局 小樽開発建設部 倶知安開発事務所
 - ・羊蹄ニセコ自転車走行協議会(通称YNCA)
構成員：倶知安町、ニセコ町、蘭越町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町等

【令和元年度利用状況】



羊蹄山麓エリア
サイクルオアシス
Cycle oasis 【イメージ】
MT. YOTEI AREA

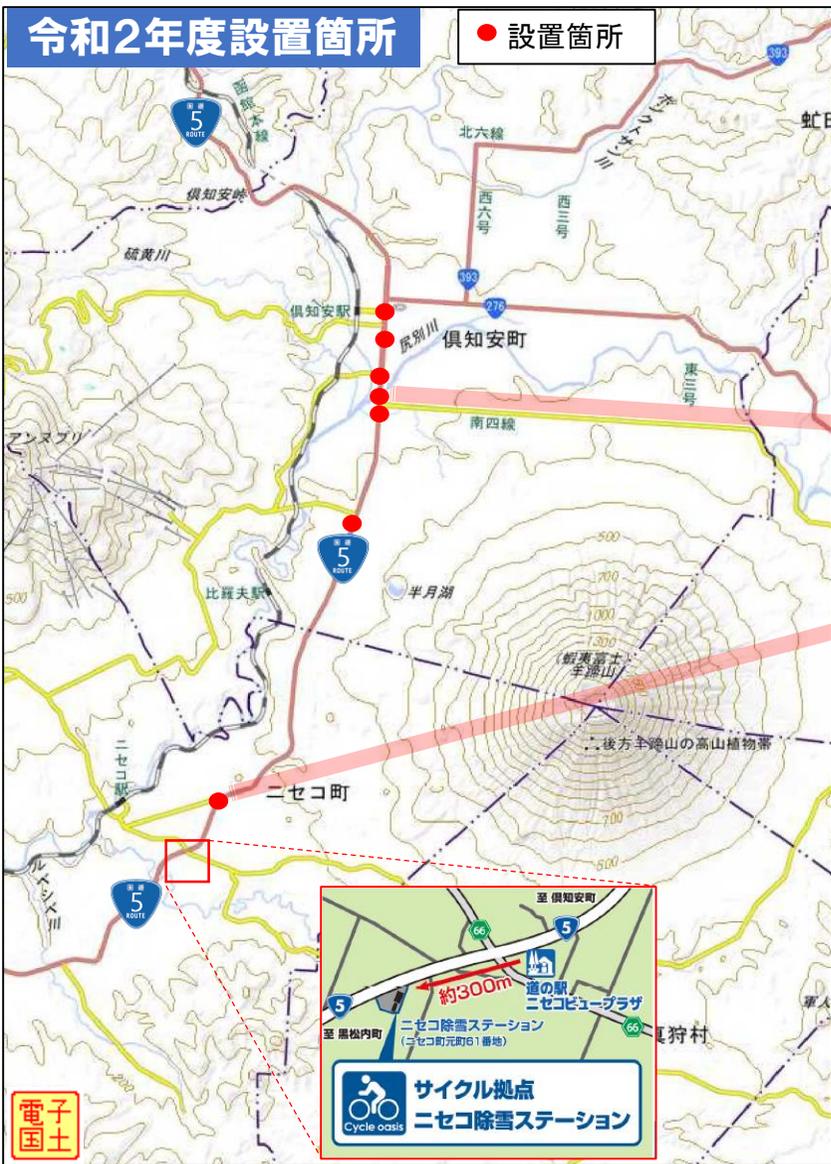


路面表示(矢羽根)の設置について

○サイクリストのための路面表示(矢羽根)を国道5号に7箇所設置。有効性を検証し、次年度以降もサイクルルート上必要とされる箇所について路面表示の設置を進めていきます。

令和2年度設置箇所

● 設置箇所



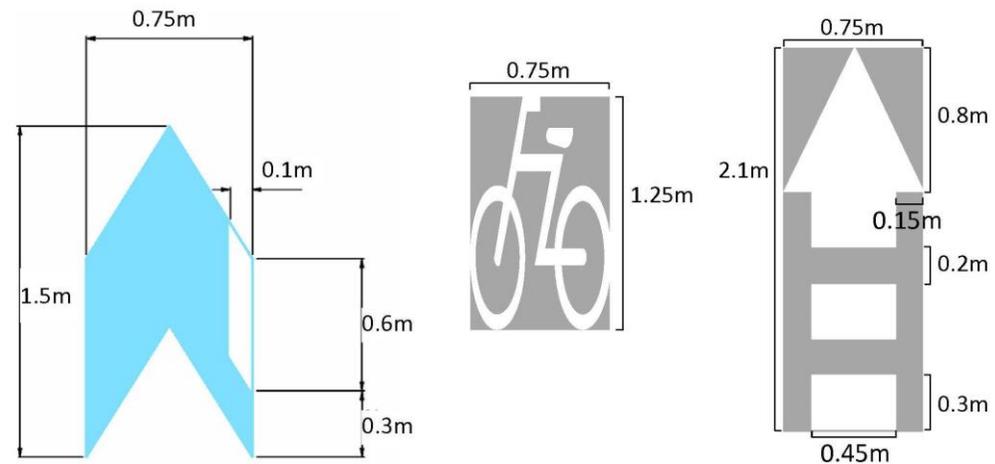
【路面表示(矢羽根)設置状況】



国道5号
×
道道京極倶知安線
付近

国道5号
×
道道ニセコ停車場線
付近

【路面表示(矢羽根)の寸法】 【自転車ピクトグラム寸法】 【矢印の寸法】



○路面表示(矢羽根)は、平成28年7月に改訂された『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』に準じた寸法を採用。